

令和元年度外務大臣表彰伝達式

9月6日、大使公邸において、令和元年度外務大臣表彰を受章された寶山晶子氏に対する伝達式を実施しました。伝達式では、池田大使より祝辞を述べた上で、寶山氏に賞状の授与を行い、寶山氏から受章の喜びといままでの活動を支えてくれた関係者への謝意、さらにモザンビークの未来を担う若者に対してメッセージが送られました。その後、トヴェーラ教育局中等教育局長及びモザンビーク太陽中学校・高校の卒業生からの祝辞が述べられました。

寶山氏は、1995年にモザンビーク太陽中学校を創設して以来、教育を通じて、モザンビーク社会の発展に貢献してきました。現在までに、1万人以上のモザンビーク人の若者が同学校を卒業し、立派に成長し、モザンビーク社会に貢献しています。同校は、2008年にモザンビークにおける最高ランクの認定を受けています。

●外務大臣表彰受賞者

寶山 晶子（ほうざん あきこ）

モザンビーク太陽中学校・高校理事長

（功績概要）

同人は、NGO「世界平和女性連合」の派遣員として1994年からモザンビークに駐在。ベイラ市にて1995年に中学校、2001年に高校を開校。理事長として運営にあたり2008年に教育省から最高ランクの認定を受けた。開校からの生徒総数は9000名を超え、卒業生の多くは国内外の大学に進学している。また、2008年から内藤徳島大学特任教授が中心となり毎年実施している白内障手術ボランティア「アイキャンプ」の現地コーディネーターを務め、これまで1630名に対し手術が行われている。



池田大使のスピーチ



表彰状授与の様子



寶山氏のスピーチ



トヴェーラ局長のスピーチ



卒業生のスピーチ



三井次席による乾杯の音頭



全体集合写真